

# 令和6年度(2024年度)版 (令和5年度(2023年度)実績)

## 事業概要

北海道早来食肉衛生検査所

# 目次

第1章 食肉衛生検査所の業務概要	
1 沿革	1
2 組織	1
3 分掌事務	1
4 施設の概要	2
5 と畜場の概要	2
6 食鳥処理場の概要	2
第2章 と畜検査業務の概要	
1 年度別検査頭数	3
2 月別検査頭数	4
3 産地別検査頭数割合（牛・豚）	5
4 と畜検査結果及び措置状況	5
(1) 全部廃棄及びとさつ・解体禁止	
(2) 一部廃棄	
5 病畜検査頭数	14
(1) 月別病畜と室使用状況	
(2) 病歴書添付家畜搬入状況	
(3) 病畜と室における検査措置	
(4) エキノコックス症確認頭数	
第3章 食鳥検査業務の概要	
1 年度別検査羽数	15
2 年度別措置状況	15
3 食鳥検査結果及び措置状況	16
第4章 試験検査業務の概要	
1 と畜検査関係	17
(1) 精密検査	
(2) 抗菌性物質の検査	
(3) 衛生管理に関する検査	
(4) 調査研究・依頼調査に関する検査	
2 食鳥検査関係	18
(1) 精密検査	
(2) 抗菌性物質の検査	
(3) 衛生管理に関する検査	
第5章 食肉衛生対策業務の概要	
1 衛生監視指導状況	19
(1) と畜場及び付帯施設等	
(2) 食鳥処理場及び付帯施設等	
2 各種衛生講習会の実施及び大学教育等への支援等	19

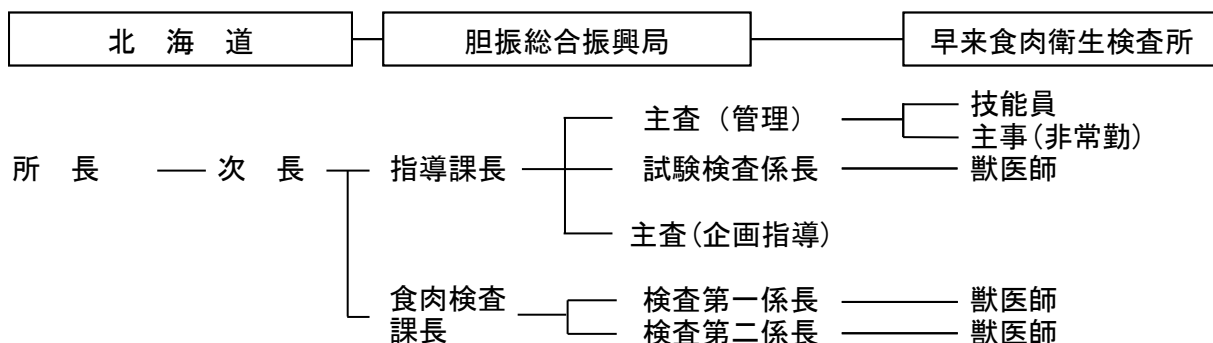
第6章	輸出食肉に関する業務	
1	輸出認定施設	20
2	輸出に係る衛生証明書発行状況	20
3	輸出取扱要綱に基づく監視件数	20
第7章	食肉検査データの還元状況	21
第8章	その他の業務	
1	視察研修・実習の受入状況	22
2	職員研修会及び技術研修会	22
	(1) 職員研修会の開催	
	(2) 各種技術研修会・会議等の出席状況	
3	検体採取依頼状況	24
	(1) 依頼者別検体数	
	(2) 器官別	
4	食肉衛生に関わる証明書発行実績	24

# 第1章 食肉衛生検査所の業務概要

## 1 沿革

- 1983年4月 (株)札幌畜産公社早来工場(\*)の稼働開始に伴い「北海道苫小牧保健所 早来食肉検査事務所」として開設、検査業務を開始する。  
(\* 1996年12月、(株)北海道畜産公社に継承し、(株)北海道畜産公社道央事業所早来工場、2019年4月に事業所別を廃止し、(株)北海道畜産公社早来工場早来食肉流通センターとなり、現在に至る。)
- 1992年4月 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律の施行により、札幌プロイラー(株)(厚真町)での食鳥検査を開始する。  
(1996年6月、日本ホワイトファーム(株)に継承、現在に至る。)
- 1998年4月 道立保健所等の再編に伴い、苫小牧保健所長の所管に属する出先機関となり、名称を「北海道早来食肉衛生検査所」に変更。
- 2002年4月 2002年2月の道央事業所早来工場(現早来食肉流通センター)規模拡大に併せて検査体制を拡充する。
- 2004年4月 組織機構改正に伴い、胆振保健福祉事務所長の所管に属する出先機関となる。
- 2010年4月 組織機構改正に伴い、胆振総合振興局長の所管に属する出先機関となる。

## 2 組織

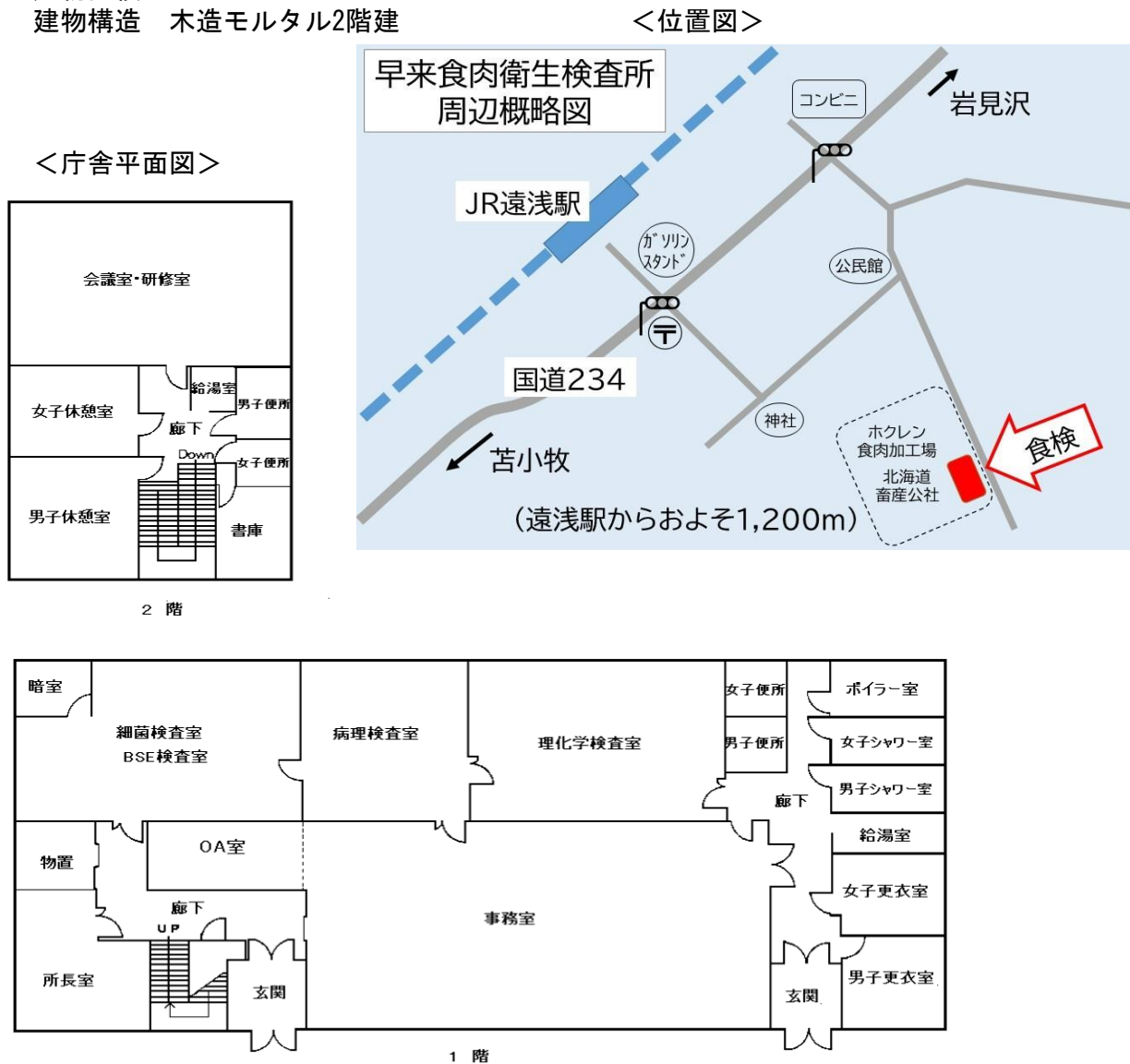


## 3 分掌事務

指導課	主査(管理) 試験検査係	検査所の管理運営及び庶務事務に関すること 試験検査に関すること 精度管理に関すること 調査研究に関すること
	主査(企画指導)	と畜場及び食鳥処理場の衛生管理に関すること 食肉衛生に係る情報の収集、分析及び提供に関すること 関係機関、団体等との連携に係る企画立案に関すること 職員に対する専門的研修等に係る企画立案に関すること
食肉検査課	検査第一係	と畜場法に係る許認可事務等に関すること 大動物、病畜のと畜検査に関すること 使用水、汚水処理及び化製場等の衛生に関すること 食肉の輸出に関すること(大動物)
	検査第二係	食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に係る許認可事務等に関すること 食鳥検査に関すること 小動物のと畜検査に関すること 食品衛生に関すること 食肉の輸出に関すること(小動物) 食鳥肉の輸出に関すること

#### 4 施設の概要

所在地 勇払郡安平町遠浅695番地  
敷地面積 993.00m<sup>2</sup>  
建物面積 619.20m<sup>2</sup>  
建物構造 木造モルタル2階建



#### 5 と畜場の概要

施設の名称 株式会社北海道畜産公社早来工場早来食肉流通センター  
施設の所在地 北海道勇払郡安平町遠浅695番地  
指定番号 第3号  
区別 一般と畜場  
処理能力 大動物100頭/日 小動物1,200頭/日(小動物換算1,500頭)  
設置許可 2002年2月

#### 6 食鳥処理場の概要

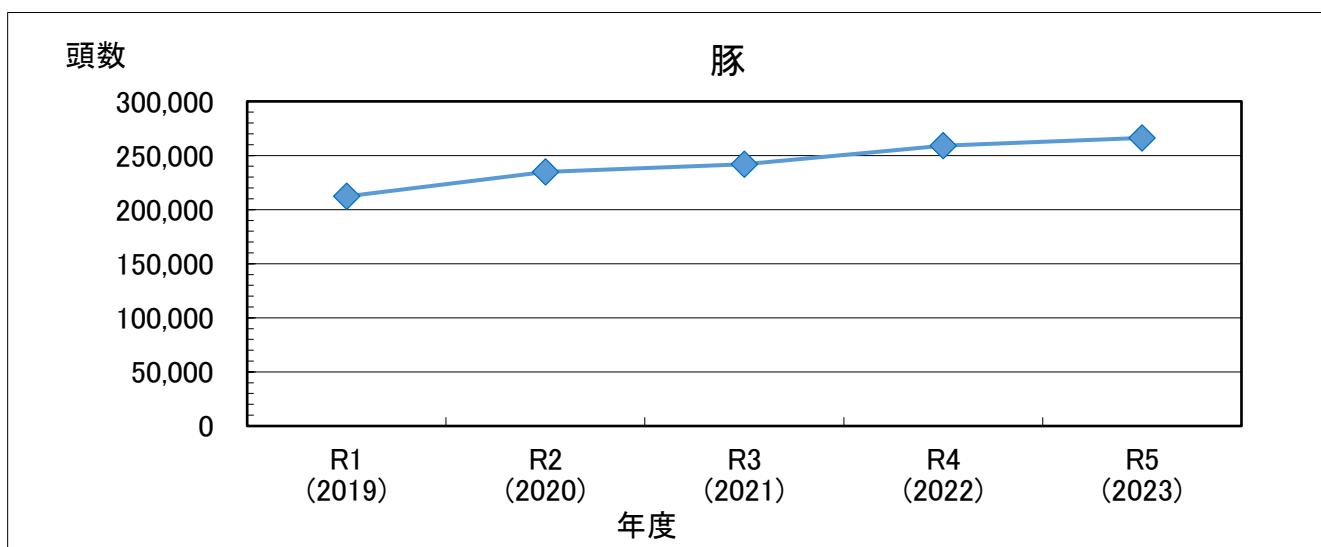
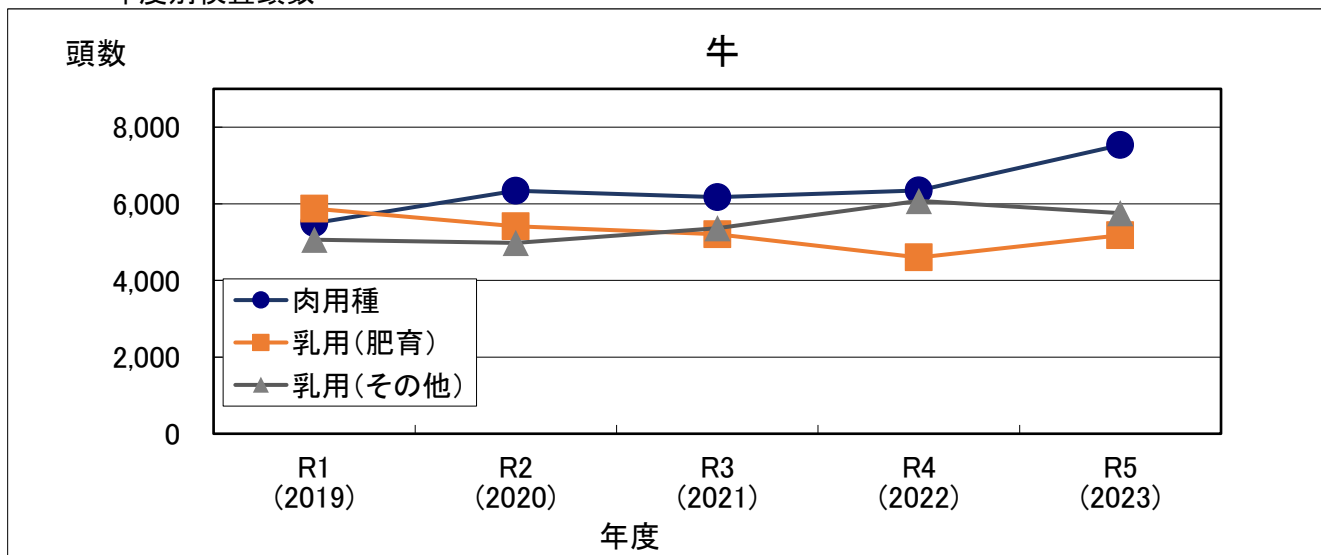
施設の名称 日本ホワイトファーム株式会社札幌食品工場  
施設の所在地 北海道勇払郡厚真町字厚和75番地3  
処理能力 約50,000羽/日  
設置許可 2022年7月

## 第2章 と畜検査業務の概要

### 1 年度別検査頭数

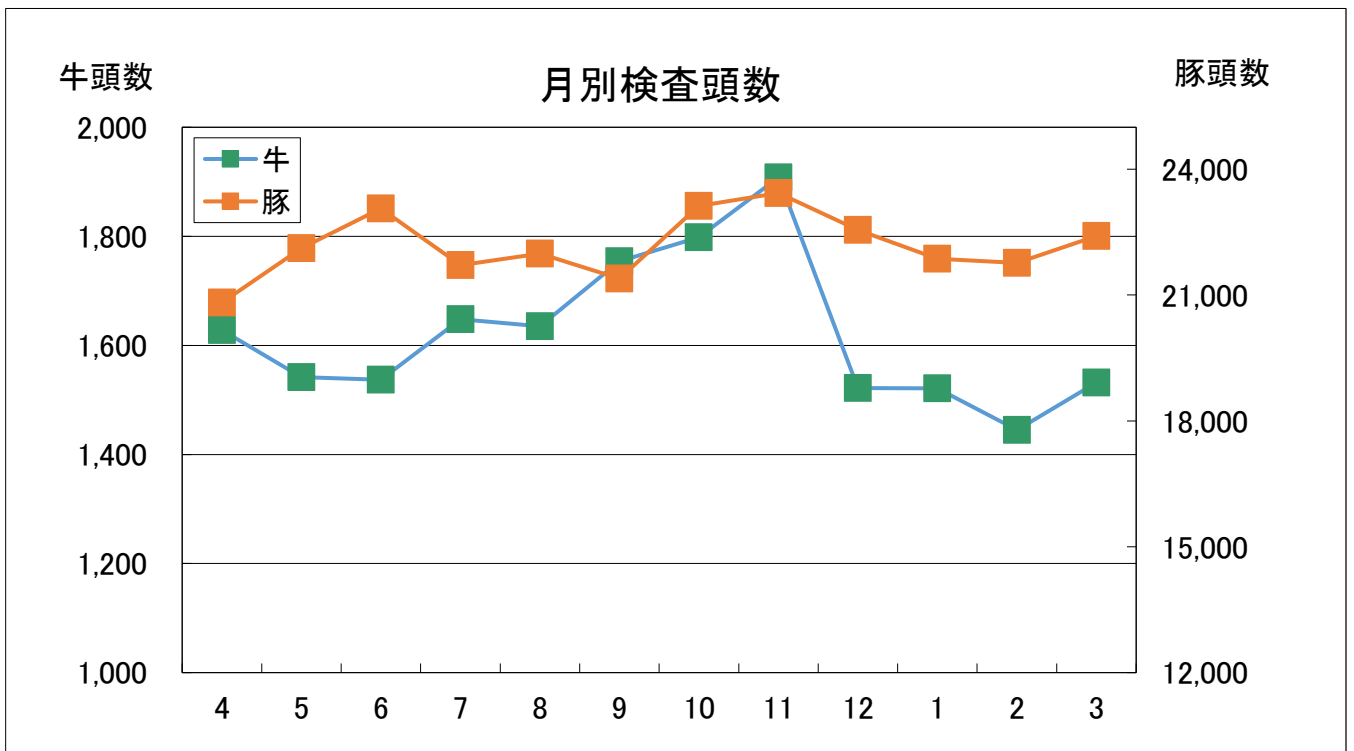
畜種 年度	牛					牛小計	馬		豚	めん羊	山羊	計	小動物 換算頭数
	1年以上		1年未満		1年 以上		1年 未満						
	肉用種	乳用種											
		肥育	その他	1月 以上	1月 未満								
R1 (2019)	5,496	5,873	5,066	361	43	16,839	65	2	212,240	906	11	230,063	263,789
R2 (2020)	6,337	5,415	4,980	423	39	17,194	59	1	234,741	884	35	252,914	287,344
R3 (2021)	6,175	5,203	5,366	543	38	17,325	58	0	241,795	1,401	5	260,584	295,274
R4 (2022)	6,353	4,600	6,077	748	135	17,913	46	0	259,075	1,683	6	278,723	314,371
R5 (2023)	7,532	5,177	5,760	969	32	19,470	44	0	266,255	1,797	11	287,577	326,541

年度別検査頭数



## 2 月別検査頭数

畜種 月	牛					牛小計	馬		豚	めん羊	山羊	合計	小動物 換算 頭数	開場 日数
	1年以上		1年未満		肉用種		1年 以上	1年 未満						
	乳用種		1月 以上	1月 未満										
	肥育	その他												
4	632	456	452	83	5	1,628	5	0	20,822	154	0	22,609	25,865	20
5	545	488	421	88	0	1,542	2	0	22,118	159	0	23,821	26,909	21
6	580	496	392	69	0	1,537	2	0	23,065	153	0	24,757	27,835	22
7	681	468	413	79	7	1,648	6	0	21,716	165	1	23,536	26,830	20
8	539	485	528	77	6	1,635	5	0	21,984	161	1	23,786	27,054	21
9	586	486	603	77	2	1,754	2	0	21,393	119	0	23,268	26,776	20
10	677	392	621	107	1	1,798	3	0	23,127	170	0	25,098	28,698	21
11	857	389	574	84	4	1,908	8	0	23,433	210	4	25,563	29,387	21
12	687	352	419	61	3	1,522	5	0	22,556	199	0	24,282	27,330	21
1	550	410	471	90	0	1,521	0	0	21,866	121	5	23,513	26,555	20
2	551	383	427	81	3	1,445	3	0	21,767	87	0	23,302	26,192	20
3	647	372	439	73	1	1,532	3	0	22,408	99	0	24,042	27,110	20
計	7,532	5,177	5,760	969	32	19,470	44	0	266,255	1,797	11	287,577	326,541	247



### 3 産地別検査頭数割合（牛・豚）

区分 産地*	牛											豚		
	1年以上						1年未満					牛小計 頭数	%	
	肉用種		乳用種				1月以上		1月未満					
			肥育		その他									
頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%			
石狩	419	5.6	110	2.1	1,091	18.9	24	2.5	2	6.3	1,646	8.5	116,382	43.7
渡島	70	0.9	98	1.9	621	10.8	3	0.3	0	0.0	792	4.1	0	0.0
檜山	28	0.4	86	1.7	79	1.4	1	0.1	0	0.0	194	1.0	0	0.0
後志	55	0.7	17	0.3	356	6.2	0	0.0	0	0.0	428	2.2	32,072	12.0
空知	931	12.4	206	4.0	298	5.2	3	0.3	0	0.0	1,438	7.4	3,010	1.1
上川	246	3.3	1	0.0	4	0.1	679	70.1	1	3.1	931	4.8	24	0.0
留萌	107	1.4	0	0.0	5	0.1	0	0.0	0	0.0	112	0.6	0	0.0
宗谷	122	1.6	12	0.2	483	8.4	3	0.3	0	0.0	620	3.2	0	0.0
オホーツク	13	0.2	19	0.4	1	0.0	1	0.1	0	0.0	34	0.2	0	0.0
胆振	3,482	46.2	267	5.2	626	10.9	94	9.7	20	62.5	4,489	23.1	111,383	41.8
日高	683	9.1	107	2.1	644	11.2	16	1.7	9	28.1	1,459	7.5	2,890	1.1
十勝	1,310	17.4	3,024	58.4	39	0.7	2	0.2	0	0.0	4,375	22.5	494	0.2
釧路	24	0.3	905	17.5	376	6.5	50	5.2	0	0.0	1,355	7.0	0	0.0
根室	27	0.4	321	6.2	1,137	19.7	90	9.3	0	0.0	1,575	8.1	0	0.0
道外	15	0.2	4	0.1	0	0.0	3	0.3	0	0.0	22	0.1	0	0.0
計	7,532		5,177		5,760		969		32		19,470		266,255	

\*: 道外を除く産地名は、振興局または総合振興局を省略

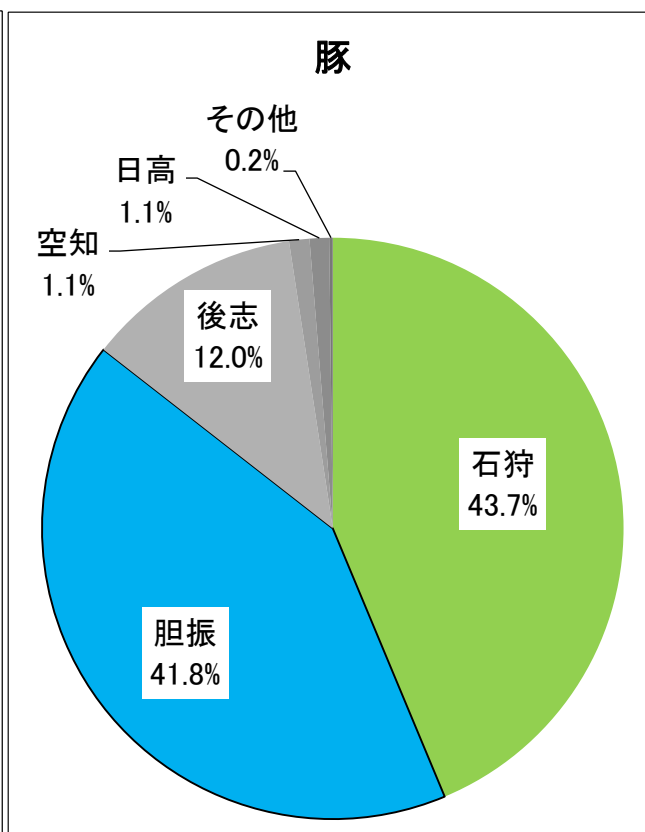
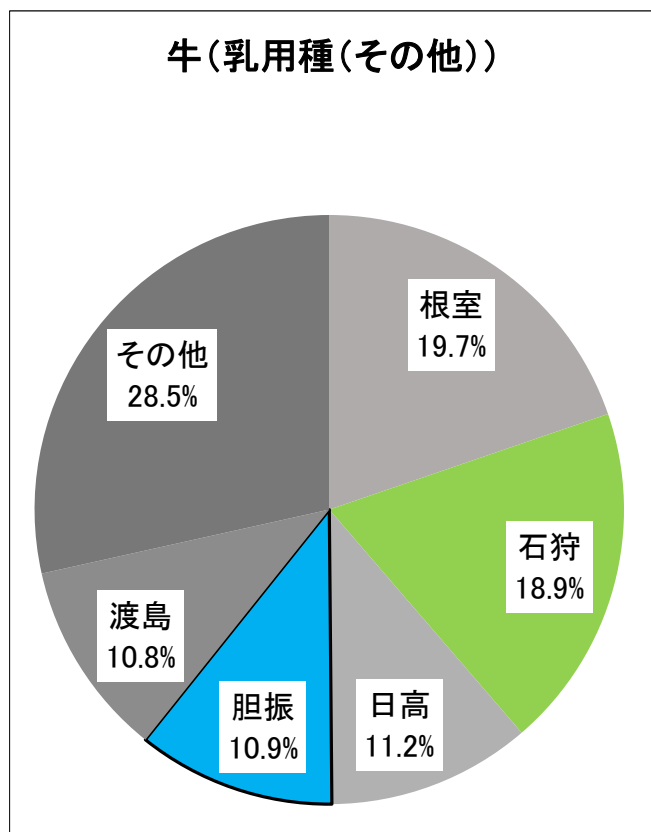
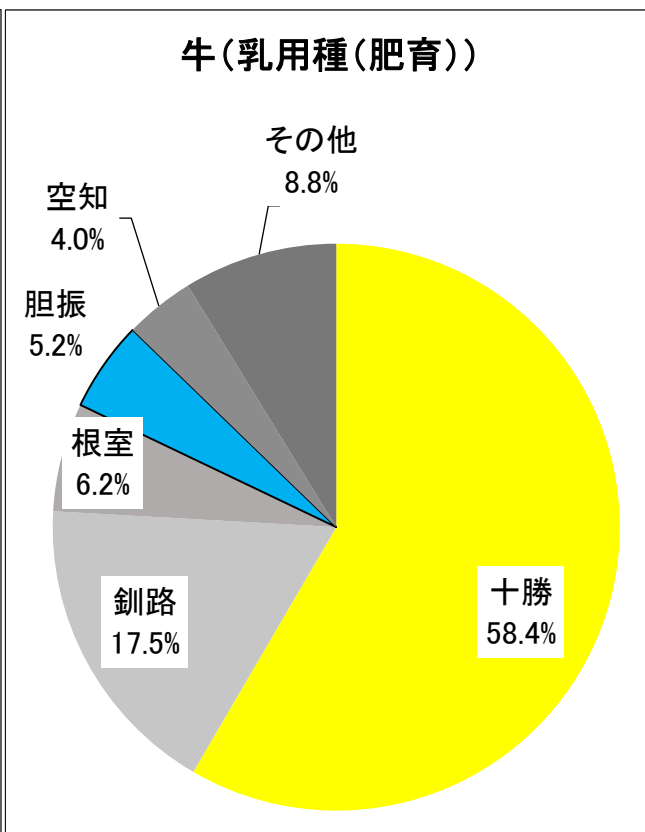
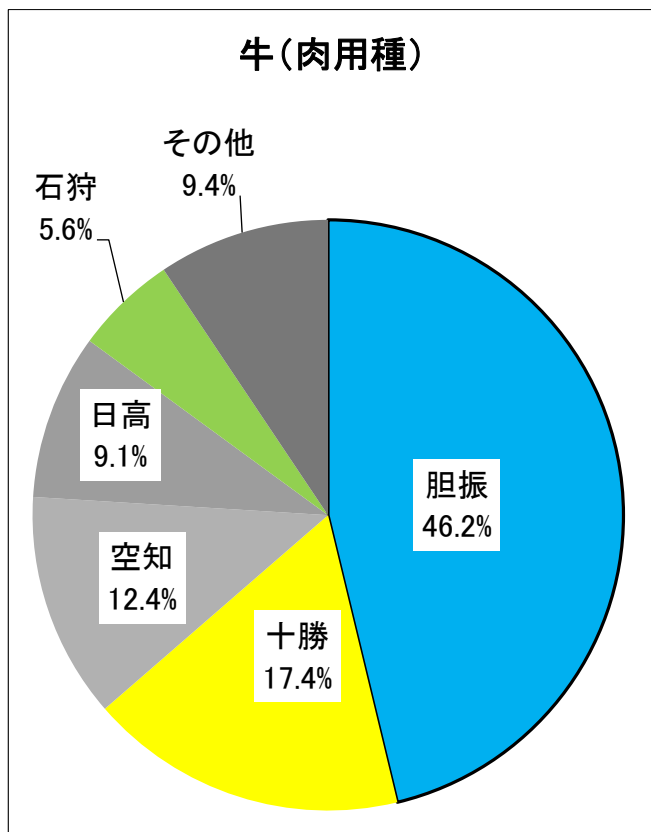
### 4 と畜検査結果及び措置状況

#### (1) 全部廃棄及びとさつ・解体禁止

畜種・措置 疾病名	牛 (1年以上)	牛 (1年未満)	馬	豚	めん羊 山羊	全畜種 計	
	全部廃棄	全部廃棄	全部廃棄	全部廃棄	全部廃棄	全部廃棄	とさつ 禁止
敗血症	37	4	0	22	0	63	0
膿毒症	2	1	0	19	1	23	0
尿毒症	3	0	0	1	0	4	0
高度の水腫	39	0	0	3	4	46	0
高度の黄疸	0	1	0	0	0	1	0
豚丹毒	0	0	0	2	0	2	0
腫瘍	2	0	2	1	0	5	0
炎症	36	0	1	14	0	51	0
白血病	0	0	0	6	0	6	0
牛伝染性リンパ腫	63	0	0	0	0	63	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	182	6	3	68	5	264	0



産地(振興局)別検査頭数割合



















## 5 病畜検査頭数

### (1) 月別病畜と室使用状況

畜種 月	牛	牛 (1才未満)	馬	豚	めん羊	山羊	計
4	14						14
5	15						15
6	14						14
7	12		2				14
8	19	1					20
9	20						20
10	18	1					19
11	17		1				18
12	5						5
1	20						20
2	18	1	1				20
3	17						17
計	189	3	4	0	0	0	196

### (2) 病歴書添付家畜搬入状況

区分	病名	牛	馬	豚
呼吸器	肺炎	10		
消化器	第四胃変位	2		
	腹膜炎	1		
	腹壁ヘルニア	1		
	出血性腸症候群	1		
	盲腸拡張	1		
	脂肪壊死症	2		
	肝炎	1		
泌尿器	尿石症	2		
	腎炎	1		
神経系	座骨神経麻痺	1		
運動器	脱臼	1		
	筋断裂	1		
	筋炎	1		
	フレグモーン	1		

区分	病名	牛	馬	豚
生殖器	ミイラ変性	1		
	膣脱	1		
	悪露停滞	1		
	直腸膣ろう	1		
全身性	低カルシウム血症	1		
	乳熱	2		
	ダウンー症候群	2		
	ビタミンA欠乏症	2		
	低マグネシウム血症	1		
	グラステタニー	1		
その他	乳房炎	5		
	起立不能症	1		
	低体温症	1		
	ヨーネ病定性陽性	1		
計		48	0	0

- ・病名は病歴書に記載されている診断名
- ・検査結果通知件数 37件

### (3) 病畜と室における検査措置

畜種(区分)	牛	牛 (1才未満)	馬	豚	めん羊	山羊	計
検査頭数	189	3	4	0	0	0	196
とさつ解体禁止							0
全部廃棄	57		1				58
一部廃棄	130	2	3				135
廃棄なし	2	1					3

### (4) エキノコックス症確認頭数

畜種	牛	牛 (1才未満)	馬	豚	めん羊	山羊	計
頭数				108			108

### 第3章 食鳥検査業務の概要

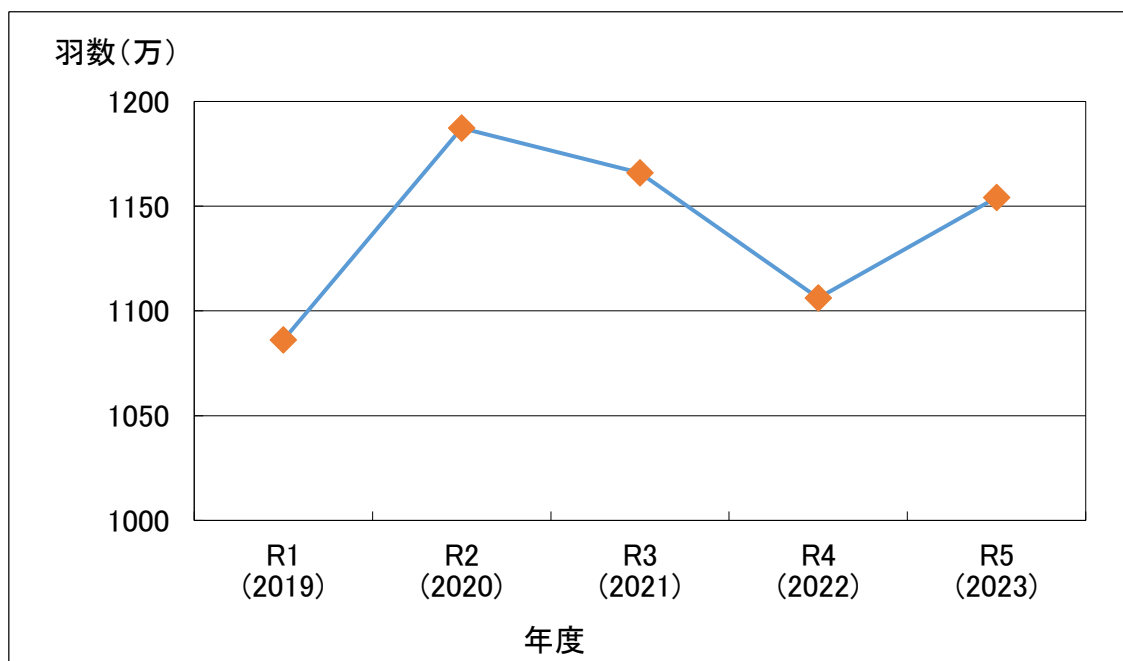
#### 1 年度別検査羽数

年度	ブロイラー			成鶏	計	開場日数
	大ビナ	中小ビナ	小計			
R1 (2019)	10,861,292	0	10,861,292	0	10,861,292	265
R2 (2020)	11,872,791	0	11,872,791	0	11,872,791	265
R3 (2021)	11,658,688	0	11,658,688	0	11,658,688	264
R4 (2022)	11,061,467	0	11,061,467	0	11,061,467	254
R5 (2023)	11,541,179	0	11,541,179	0	11,541,179	262

#### 2 年度別措置状況

年度	検査羽数	処分羽数	処分区分					
			と殺禁止		全部廃棄		一部廃棄	
			羽数	%	羽数	%	羽数	%
R1 (2019)	10,861,292	201,639	46,672	0.4	89,645	0.8	65,322	0.6
R2 (2020)	11,872,791	190,391	58,154	0.5	47,286	0.4	84,951	0.7
R3 (2021)	11,658,688	265,672	57,958	0.5	89,269	0.8	118,445	1.0
R4 (2022)	11,061,467	177,625	29,195	0.3	77,713	0.7	70,717	0.6
R5 (2023)	11,541,179	259,636	23,249	0.2	54,838	0.5	181,549	1.6

年度別検査羽数の推移



### 3 食鳥検査結果及び措置状況

	ブロイラー			成鶏		
	と殺禁止	全部廃棄	一部廃棄	と殺禁止	全部廃棄	一部廃棄
処 分 実 羽 数	23,249	54,838	181,549			
封 入 体 肝 炎						
マ レ ッ ク 病						
大 腸 菌 症		26,009				
サ ル モ ネ ラ 症						
ブ ド ウ 球 菌 症						
膿 毒 症						
敗 血 症						
原虫病（T pを除く）						
寄 生 虫 病						
変 性		6,483	2,247			
水 腫						
腹 水 症		16,058				
出 血		1,306	11,586			
炎 症		3,788	167,716			
萎 縮						
腫 瘍		27				
臓器の異常な形等		0				
黄 疸		28				
外 傷		30				
中 毒 諸 症						
削 瘦 及 び 発 育 不 良	22,967	1,067				
放 血 不 良	282	36				
湯 漬 過 多		2				
そ の 他		4				
計	23,249	54,838	181,549	0	0	0

## 第4章 試験検査業務の概要

### 1 と畜検査関係

#### (1) 精密検査

項目 畜種	頭数	検体数	内 訳				延件数	検査後措置		
			病 理	細 菌	理化学	寄生虫		と殺禁止	全部廃棄	一部廃棄
牛	106	432[51]	219[10]	211[41]	3	0	433[51]	0	97	9
豚	46	201[45]	35	163[45]	6	0	204[45]	0	25	21
馬	2	4	3	0	1	0	4	0	0	2
めん羊	1	3[2]	0	3[2]	0	0	3[2]	0	1	0
鶏	7	16[1]	16	3[1]	0	0	19[1]	0	5	2
計	162	656[99]	273[10]	380[89]	10	0	663[99]	0	128	34

[ ] : PCR使用再掲

#### (2) 抗菌性物質の検査（抗生物質）

項目 畜種	頭数	検体数	件数	陽性頭数
牛	10	10	30	0
	10	10	30	0
豚	19	19	57	0
	19	19	57	0
計	29	29	87	0
	29	29	87	0

①術式は簡易検査法と  
系統別推定法の併用  
②下段はモニタリング検査の  
再掲

#### (3) 衛生管理に関する検査（結果に基づき衛生指導を実施）

項目 畜種	検体数	内 訳（件数）							計
		一般 生菌数	腸内細菌 科菌群数	大腸菌群 数	大腸菌数	腸管出血 性大腸菌 0157	サルモネラ属菌	黄色ブドウ 球菌	
牛	60	60	60	0	0	0	0	0	120
豚	60	60	60	0	0	0	0	0	120
施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	120	120	120	0	0	0	0	0	240

#### (4) 調査研究・依頼調査に関する検査

項目 畜種	検体数	内 訳（件数）				延件数
		病 理	細菌・ウイルス	理化学	寄生虫	
牛	415[42]	205[1]	211[41]	0	0	416[42]
豚	35	35	3	0	0	38
馬	3	3	0	0	0	3
めん羊	3[2]	0	3[2]	0	0	3[2]
鶏	16[1]	16	3[1]	0	0	19[1]
計	472[45]	259[1]	220[44]	0	0	479[45]

[ ] : PCR使用再掲

## 2 食鳥検査関係

### (1) 精密検査

畜種	項目	羽数	検体数	内 訳				延件数
				病 理	細 菌	理化学	寄生虫	
ブロイラー		7	16	16	3	0	0	19
計		7	16	16	3	0	0	19

### (2) 抗菌性物質の検査（抗生物質）

畜種	項目	羽数	検体数	件数	陽性羽数
ブロイラー		59(29)	59(29)	177(87)	0
		59(29)	59(29)	177(87)	0
計		59(29)	59(29)	177(87)	0
		59(29)	59(29)	177(87)	0

- ①術式は簡易検査法と系統別推定法の併用
- ②下段はモニタリング検査の再掲
- ③( )は他機関からの依頼数（再掲）

### (3) 衛生管理に関する検査（結果に基づき衛生指導を実施）

種類	項目	検体数	内 訳（件数）						計	
			一般生菌数	腸内細菌科菌群数	大腸菌群数	大腸菌	サルネ菌属菌	カンピロバクター		黄色ブドウ球菌
ブロイラー		30	30	30	0	0	0	0	0	60
施設		0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		30	30	30	0	0	0	0	0	60

## 第5章 食肉衛生対策業務の概要

### 1 衛生監視指導状況

(1)と畜場及び付帯施設等 (外部検証、一斉監視及び輸出取扱要綱に基づく監視件数)

施設	延監視回数	施設	延監視回数
と畜場	72	食肉処理施設(食肉処理業)	51
化製場	12	食品の冷凍、冷蔵施設	2
食肉製品製造施設	2	そうざい製造施設	2
食用油脂製造施設	1	飲食店営業施設	0
給水施設	12	排水処理施設	12
		合計	158

※輸出取扱要綱に基づく厚生局査察に対応した施設立入を含む

(2)食鳥処理場及び付帯施設等

施設	延監視回数	施設	延監視回数
食鳥処理場	43	食肉処理施設(食肉処理業)	3
給水施設	12	排水処理施設	12
		合計	70

### 2 各種衛生講習会の実施及び大学教育等への支援

月日	講習会名	主催	対象者	開催地
令和5年(2023年) 8月25日	獣医学概論	北海道大学	北海道大学 及び 帯広畜産大学獣医学 科学学生 80名	札幌市

## 第6章 輸出食肉に関する業務

### 1 輸出認定施設

対象獣畜	輸出先	と畜場名	食肉処理場名	食鳥処理場名	
		株式会社北海道畜産公社早来工場早来食肉流通センター	株式会社北海道畜産公社早来工場	日本ホワイトファーム(株)札幌食品工場	
牛	台湾	○	○		※牛内臓も
	タイ	○	○		
	ベトナム	○※	○※		
	ミャンマー	○	○		
	マカオ	○	○		
豚	シンガポール	○	○		※豚内臓も
	香港	○	○		
	ベトナム	○※	○※		
鶏	香港			○	
	ベトナム			○	

### 2 輸出に係る衛生証明書発行状況

輸出先	畜種	発行件数
香港	食鳥肉	238
	豚肉	618
台湾	牛肉	120
シンガポール	豚肉	240
	計	1,216

### 3 輸出取扱要綱に基づく監視件数（第5章1(1)衛生監視指導状況の再掲）

施設	延監視件数	施設	延監視件数	合計
と畜場	40	食肉処理施設 (食肉処理業)	44	84

## 第7章 食肉検査データの還元状況

畜種	還元 件数	内 訳				
		生産者	行政 機関	臨床 獣医師	処理場 設置者	その他
牛	445	0	0	37	247	161
豚	552	132	12	0	247	161
馬	0	0	0	0	0	0
めん山羊	0	0	0	0	0	0
食鳥	260	0	0	0	260	0
計	1,257	132	12	37	754	322

### 生産者に対するデータ還元

検査データの還元を希望する生産者に、月次集計でのデータ還元を行った。

### 行政機関に対するデータ還元

家畜保健衛生所の依頼により管轄する農家の検査データを提供した。

### 臨床獣医師に対するデータ還元

病歴書添付の病畜について解体検査所見の通知要望により検査結果の通知を行った。

### 処理場設置者に対するデータ還元

検査終了後、設置者に検査データを毎日還元した。

### その他に対するデータ還元

検査データの還元を希望する申請者に、日次又は月次集計でのデータ還元を行った。



## 第8章 その他の業務

### 1 視察研修・実習の受入状況

月 日	対象者	人数	内容
令和5年(2023年)			
10月4日	北海道大学獣医学部学生	4名	学生実習
10月5日	北海道大学獣医学部学生	4名	学生実習
10月11日	北海道大学獣医学部学生	4名	学生実習
10月12日	北海道大学獣医学部学生	4名	学生実習
10月19日	酪農学園大学獣医学類学生	4名	学生実習
10月20日	酪農学園大学獣医学類学生	2名	学生実習
10月25日	酪農学園大学獣医学類学生	2名	学生実習
10月25日	酪農学園大学教員他	3名	学生実習関係
10月26日	酪農学園大学獣医学類学生	3名	学生実習

### 2 職員研修会及び技術研修会

#### (1) 職員研修会の開催

月 日	研修内容	人数
令和5年(2023年)		
6月21日	文書管理	26名参加
7月10日	公務員倫理	26名参加
8月4日	新任課長級研修(第2回)	1名参加
8月22日	実践的サイバー防御演習CYDER	1名参加
8月24日～25日	プレゼンテーション研修	1名参加
8月28日～29日	簡潔ワンペーパー研修	1名参加
9月13日	働き方改革	27名参加
9月14日	胆振総合振興局新規採用職員地域研修	2名参加
10月31日	胆振総合振興局安全運転研修	1名参加
11月8日	情報セキュリティ対策及びソフトウェア資産管理・デジタルリテラシー向上	27名参加
12月11日	ストレスマネジメントセミナー	1名参加
令和6年(2024年)		
1月24日	メンタルヘルス	28名参加
3月27日・28日	非常勤検査員研修会	28名参加

#### (2) 各種技術研修会・会議等の出席状況

月 日	研修・会議名	主催	開催地
令和5年(2023年)			
4月19日	胆振獣医師会第1回役員会	胆振獣医師会	苫小牧市
4月26日	鶏病研究会北海道支部 第1回役員会(書面開催)	鶏病研究会北海道支部	—
5月12日	全道食肉検査所長会議	道食品衛生課	札幌市

5月19日	北海道獣医師会 第1回理事会	北海道獣医師会	札幌市
5月24日	胆振獣医師会第2回役員会	胆振獣医師会	苫小牧市
6月14日	北海道獣医師会令和4年度代議員会 第3回、第4回理事会	北海道獣医師会	札幌市
7月5日	胆振獣医師会第3回役員会・学術専門委員会議	胆振獣医師会	苫小牧市
7月11日～12日	新規採用等と畜・食鳥検査員研修会	道食品衛生課	札幌市
7月19日～20日	全国食肉衛生検査所長会議及び第59回全国食肉衛生検査所協議会	全国食肉衛生検査所協議会	山形県
8月25日	全道食品環境衛生研究発表会	道食品衛生課	札幌市
8月30日	北海道獣医師会第5回理事会	北海道獣医師会	札幌市
8月30日～31日	食肉・食鳥肉衛生技術研修会	道食品衛生課・北海道獣医師会	札幌市・江別市
9月13日～14日	食肉・食鳥肉病理組織検査担当者育成研修会	道食品衛生課	帯広市
9月28日	規定に沿った正確な記録及び適切な筆記具の使用について	内部研修	所内
10月10日	胆振総合振興局高病原性鳥インフルエンザ防疫演習（集合施設の部）	胆振総合振興局農務課	安平町
10月17日～18日	食肉・食鳥肉検査業務打合せ会議	帯広食肉衛生検査所	帯広市
10月23日	全国食肉衛生検査所協議会第34回北海道・東北ブロック大会	全国食肉衛生検査所協議会 北海道・東北ブロック	岩手県
11月7日～9日	食肉・食鳥肉微生物研修会	道食品衛生課	札幌市
11月8日	日胆ブロック保健所生活衛生課業務担当者研修会	浦河保健所	web参加
11月16日～17日	中央ブロック保健所生活衛生監視指導班等研修会	岩見沢保健所	岩見沢市・北広島市
11月30日	北海道獣医師会胆振支部 産業動物・公衆衛生講習会	胆振獣医師会	苫小牧市
12月1日・13日	カナダの食肉に関するプレゼンテーション	厚生労働省	web参加
12月7日	北海道獣医師会第6回理事会	北海道獣医師会	札幌市
令和6年(2024年)			
1月22日	胆振獣医師会第4回役員会	胆振獣医師会	苫小牧市
1月23日～24日	食肉及び食鳥肉衛生技術研修並びに研究発表会	厚生労働省・全国食肉衛生検査所協議会	東京都
1月26日	自治体職員向けの食肉の対米輸出に関する研修会	厚生労働省	web参加
2月9日	全道食肉衛生検査所長会議	道食品衛生課	札幌市
2月14日	北海道獣医師会令和5年度行政部会	北海道獣医師会	札幌市
2月22日	日経アニマルウェルフェアシンポジウム	日本経済新聞社	web参加
2月22日	日本食肉生産技術開発センター R5 研究開発成果発表会	日本食肉生産技術開発センター	web参加
3月13日	北海道獣医師会第7回理事会	北海道獣医師会	札幌市
3月14日	外部検証業務研修	道食品衛生課	web参加
3月25日	苫小牧保健所生活衛生監視指導班等研修会	苫小牧保健所	苫小牧市
3月26日	北海道獣医師会令和5年度第2回行政部会	北海道獣医師会	札幌市

### 3 検体採取依頼状況

#### (1) 依頼者別検体数

依頼者	牛	豚	鶏	計
教育機関	1			1
その他	50	20	10	80
計	51	20	10	81

#### (2) 器官別

器官	牛	豚	鶏	計
消化器系				0
生殖器系	51			51
呼吸器系				0
血液		20		20
その他			10	10
計	51	20	10	81

### 4 食肉衛生に関わる証明書発行実績（輸出に係る証明書は第6章に記載）

とちく検査証明書	1,416枚
検査証明・廃棄証明	131枚
検査証明・原皮証明	52枚

安全で安心な食肉・食鳥肉を食卓へ  
それが私たちの使命です。

令和6年度（2024年度）版 事業概要  
（令和5年度（2023年度）実績）

発行 令和6年（2024年）9月

編集・発行 北海道早来食肉衛生検査所

所在地 〒059-1433  
北海道勇払郡安平町遠浅695番地  
電話 (0145)-22-3931  
FAX (0145)-22-3936